

標記工場ニ於ケル勞働會議ニ於テハ屢報ノ通りナル  
カ其後、経過左記ノ通ニ有之

記

一 事業主側、状況

事業主側ニ於テ三月廿七日午後参加、金職工ニ對し  
解雇通知狀ヲ發送セラハ既報、又東月四日ニ至リ更  
ニ被解雇職工ニ對し解雇通知ヲ發送セル日迄、未拂  
賃金ヲ支拂フヘキ旨夫々通知狀ヲ發送セリ一方会社  
ニ於テハ同日ハ薪三臨時工十四名ヲ雇入レタル結果  
出勤職工ヲ加へ計五十八名ヲ以テ事業ヲ経営シツ  
トリテ態度依然強硬ナリ

（労働者側）

労働者側ニ於テハ東月三日埼玉縣川口町消費組合乙  
リ白木二郎及薪炭其他ヲ取リ寄セ持久戰、用意ヲ為  
シツ、アルモ争議參加職工中ニハ御里ヨリ而親等ノ  
迎ヒタル者アリテ氣勢ヲ殺カレ居ルノ觀アリ  
东月三日ニ至リ裏目会社ヨリ、發送ニ係ル解雇通知  
狀ヲ取撃メ、上訪鐵労働組合員大越半治及谷一郎、  
而名代表トシテ工場ヲ訪内海亮原事務員ニ對シ「今  
回ノ會社ノ解雇ハ吾々ハ詫メルニトハ出来ヌ云々レ  
ト述ヘ該通知狀ヲ一括返還、上歸去ヤリ

商前項一、如ニ會社側ヨリ、賃金支拂、通知ニ棄シ  
テハ前田繁義松尾萬六郎小宮勝吉郎、三名ニ於テ通  
知狀取纏メ、上西月四日會社ヲ訪向シ之カ支拂方ヲ